

豊学だより

令和4年5月19日発行 小山市立豊田中学校 学習指導通信第1号

小中一貫校がスタートして、1か月が過ぎました。今月はスポーツフェスタが予定されており、行事に向けての準備に意欲的に取り組んでいる生徒たちの姿を目にしています。生徒たちは日常の生活面でも少しずつ余裕と見通しが持てるようになってきました。

さて、豊田中学校では学習面において、豊田地区の地域性や特性を生かしながら、今年度「知識及び技能の習得を基盤とし、表現する力を高める指導の工夫~小中一貫性を大切にして~」の研究主題のもと、小中一貫校職員として教員たちが学習指導にあたっております。保護者の皆様にも、ご協力をいただきながら、学習面でのサポートをしていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

4月19日 各学年のテストの様子



3年生:全国学力状況調査



2年生:とちぎっ子学習状況調査



1年生:実力テスト(小学校の内容)

※今回実施したテストは、1年生は5月中、2年生は6月末、3年生は7月末にそれぞれ調査結果が出る予定です。これらの結果を参考に、授業や家庭学習を充実させていけるよう活用していきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

~「豊田スタンダード」について~

豊田中学校では、小学校と連携をして「豊田スタンダード(学習の約束)」を学習の基盤とし、学習活動に取り 組ませています。豊田スタンダードは、小中一貫校がスタートするずっと前から実践されてきていますが、今年 度の新たなスタートを機に、学校と家庭で共通理解をしながら、より生徒たちの学習活動の充実を図っていきた いと考えています。

義務教育9年間の中での学びを、大きく3段階にとらえ、発達段階に応じた学習指導をしております。家庭での学習の様子の参考にしていただいたり、授業参観などで豊田スタンダードが定着しているかなど、学習面でのご家庭での話題に取り上げていただいたりしていただけたら幸いです。裏面に「豊田スタンダード家庭版」を載せてあります。生徒たちにも学習の約束を基盤として、学習活動に取り組ませていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

豊田スタンダード(9年間かけた学び方の約束)

豊田スタンダード(9年間かけた学び方の約束)			
	基礎・基本期	習熟・接続期	充実・発展期
	(小1~4年)	(小5~中1年)	(中2・3年)
準	・休み時間のうちに次の学習の準備ができる。	・移動教室の時は、早めに移動できる。	・移動教室はすみやか
	i	・チャイムと共に学習が始められるよ	にできる。
備	・決められた時間になったら席に着くことが	うに	(3分前入室完了・1
1113	できる。	準備して、着席できる。	分前着席完了)
		・休み時間が5分間の場合は、3分前入)4 H1/E/H1/OG 1 /
		室1分前着席できる。	
		・授業開始時は、教科書・ノート等を開	
		いて準備できる。	
話	・手は高くまっすぐに挙げることができる。	・相手や場に応じて、自分の考えを分か	・相手の反応を踏ま
ны	・名前を呼ばれたら、「はい」と返事をして起立	りやすく伝えることができる。	え、自分の考えが分
す	することができる。	TO CARCOLLA CE S.	かりやすく伝わる
	・教室のみんなに、伝わるように大きな声で、		ように表現を工夫
	最後まではっきりと話すことができる。		しながら話すこと
	・「です。」「ます。」を使って話すことがで		ができる。
	きる。		~ CC 0°
	・分からないところは質問することができる。		
聞	・人の話はだまって最後まで聞くことができ	・話し手の方を向き、自分の考えと比較	・必要に応じて記録
14-13	る。	しながら、ねらいを押さえて聞くこと	
<	・話している人を見て、良い姿勢で聞くことが	ができる。	したり質問をした
`	できる。(目と耳と心で)	^ CCOO。 ・人の意見を聞いて自分の考えを深め	りしながら話の内
	・友達の意見を大切にすることができる。	ることができる。	容を捉えることが
			できる。
			・自分の考えをまとめ
			ながら聞くことが
-#-	M. Mr 1 1 1 1 2 2 2		できる。
書	・鉛筆を正しく持って書くことができる。		・根拠を明確にし、自
,	・正しい姿勢で書くことができる。		分の考えが伝わる
<	・背筋を伸ばすことができる。 ・ノートから目を30cmくらい離すことがで		文章になるよう工
		 	夫しながら書くこ とができる。
	きる。 ・鉛筆をもっていない方の手でノートを押		2 13 C 2 2°
	・		
	・下敷きを敷いて、ゆっくりと丁寧に書くこと		
	・「		
	・直線を引くときは、定規を使うことができ	白八の老されて土して土しゅつと	
	- 巨麻を引くこさは、足腕を使りことができる。	・自分の考えを工夫してまとめるこ	
	。 ・自分の考えをノートにまとめることがで	とができる。	
	きる。	・大切なことを分かりやすくメモに取	
	・メモの取り方を身に付けることができる。	ることができる。	
態	・立腰を意識し、正しい姿勢で授業を受けるこ		
701	とができる。		
度	・授業の初めと終わりは、立ってあいさつを		
	することができる。		
		先生が立ったら →「起立」の号令	
	大生が立ったら →「起立」の号令	元主が立ったら →「起立」の号で →起立・椅子を入	
	→起立・椅子を入れる	→起立・何子を入 れる	
	ー歩下がったら→「礼」の号令 (会号で) 「お願い」ます」またけ	118 号令「礼」 →全員で -	
	(全員で)「お願いします」または	亏っ「化」 →主貝で - 「お願いします」または	
	「ありがとうございました」	「あ願いします」または	
	→礼 一歩戻ったら→「着席」の号令	→ 礼	
	→ 着席		
	・後片付けをしっかりと行い、次の学習の		
	準備をしてから席を離れることができる。		